

令和5(2023)年度決算と経営戦略収支計画比較

会計名 電気事業

(単位:百万円、収益的収支は税抜表示、資本的収支は税込表示)

(1) 収益的収支

		計画額 A	当 初 予 算 額	決算額 B	B-A	備考
収 入	料金収入	3,202	2,010	1,937	▲ 1,265	・料金収入は、風見発電所全面改修事業の遅延により減 非FIT分:18百万円増 FIT分:1,325百万円減 とちぎふるさと電気:42百万円増
	その他収入	55	47	44	▲ 11	
	計	3,257	2,057	1,981	▲ 1,276	
支 出	人件費	484	391	337	▲ 147	・人件費は、職員構成の若年化等により減
	減価償却費	698	465	464	▲ 234	・減価償却費は、工事の進捗状況により減
	修繕費	412	621	375	▲ 37	・修繕費は、工事の繰越しにより減
	その他支出	871	983	781	▲ 90	
	計	2,465	2,460	1,957	▲ 508	
経 常 損 益	792	▲ 403	24	▲ 768		

(2) 資本的収支

		計画額 A	当 初 予 算 額	決算額 B	B-A	備考
収 入	借入金	750	700	1,740	990	・借入金は、風見発電所全面改修事業の繰越しにより増(うち234百万円は翌年度へ繰越しされる支出の財源に充当)
	その他収入	1	10	2	1	
	計	751	710	1,742	991	
支 出	建設改良費	2,119	2,032	1,923	▲ 196	・建設改良費は、深山発電所大規模改修事業等の繰越し等により減
	借入金償還金	212	662	662	450	
	その他支出	42	42	40	▲ 2	・借入金償還金は、返済計画の変更により増
	計	2,373	2,736	2,625	252	
差 引	▲ 1,622	▲ 2,026	▲ 1,117	505		

剰余金残高	1,468	/	1,367	▲ 101	
-------	-------	---	-------	-------	--

・平成28年度からの積み上げによる(剰余金の処分は考慮しない)。

借入金残高	6,269	/	3,677	▲ 2,592	
-------	-------	---	-------	---------	--

経営指標による経営状況

	収益性			安全性		老朽化の状況
	経営資本 営業利益率 ・経営資本でどれだけの営業利益を上げたかで、高いほど良好	営業収支比率 ・営業活動の能率で、高いほど良好	経常収支比率 ・経常的な企業活動の効率性で、高いほど良好	流動比率 ・短期的な支払能力で、高いほど経営基盤は安定	自己資本 構成比率 ・総資本に対する自己資本の割合で、高いほど経営基盤は安定	有形固定資産 減価償却率 ・償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標
	(単位:%)					
令和元年度決算値	2.15	119.22	118.78	851.44	80.30	66.14
令和2年度決算値	2.38	119.58	118.51	862.68	80.90	62.56
令和3年度決算値	▲ 0.55	95.60	93.67	917.90	79.52	63.46
令和4年度決算値	0.62	105.20	102.66	383.37	74.29	64.41
令和5年度決算値	0.57	105.27	101.21	748.00	72.20	62.96
全国平均(令和4年度決算値)	—	127.08	127.80	817.72	80.37	60.90
説明	<p>風見発電所全面改修事業及び川治第一発電所修繕工事に伴う発電停止により料金収入が減少したため、事業の収益性を示す経営資本営業利益率、営業収支比率、経常収支比率の3指標は改修前(令和2年度以前)に比べ低い値であるが、固定価格買取制度(FIT)の適用発電所の販売電力量が増加したことや人件費等費用の減少により純利益を確保した。令和6年度は、発電を再開しFIT適用発電所となった風見発電所による料金収入の増加により、経営状況は改善する見込みである。</p> <p>経営の安全性を示す流動比率は、未払金や翌年度に償還する企業債が減少したため、昨年度より大幅に上昇している。</p> <p>また、自己資本構成比率は企業債を新たに借入れたため、前年度より減少しているが、資本の比率は変わらず高い水準にあり経営基盤は安定している。</p> <p>有形固定資産減価償却率では償却資産の減価償却が6割を超えて進んでいるが、これは日頃の保守点検によって各資産の劣化状況を把握し、更新計画に反映させながら順次更新に取り組んでいるところであり、特に問題はない。</p>					

※ 営業収支比率: 単年度営業収支の黒字を示す100%以上が必要

※ 経常収支比率: 単年度収支の黒字を示す100%以上が必要

※ 流動比率: 短期的に支払うべき債務を支払える現金等がある状況を示す100%以上が必要

電気事業 目標の達成状況

1 財務面に係る評価

目標の達成状況

	【目標】 財務基盤を強化するため、5か年で合計10億円以上の経常利益を確保します。
決算累計値	▲57百万円
評価	B
評価に係る説明	風見発電所全面改修事業の遅延により発電再開が遅れたが、FIT適用発電所の販売電力量が増加したことや費用の削減等により黒字となり、目標を概ね達成できる見込みであるためB評価とした。

2 事業面に係る評価

(1) 目標の達成状況





	計画業務量(年間供給電力量)	各発電所の事故・故障等停止時間	一般会計への繰出額
目標値	R5年度 227,000MWh	R5年度 各発電所72時間以内	計画累計値210百万円 5か年で累計 350百万円
実績(累計)値	R5年度 148,589MWh	R5年度 317時間(1発電所のみ)	累計 297百万円
評価	C	B	A
評価に係る説明	風見発電所全面改修事業の遅延により目標値を大幅に下回ったため(目標比65.5%)、C評価とした。	稼働中11発電所のうち1発電所(東荒川発電所)で目標を下回ったため、B評価とした。	とちぎふるさと電気が完売し、繰出額が増えたため、A評価とした。

(2) 取組実績等

※下線は新規事項

経営方針	令和5(2023)年度の実績	令和6(2024)年度の実績予定
ハード・ソフト両面の 強 靱 化	<ul style="list-style-type: none"> ○施設等の計画的な更新や耐震化 <ul style="list-style-type: none"> ▶川治第一発電所屋外機器更新工事(R4~R5) ▶足尾発電所水圧鉄管等耐震補強詳細設計(R4~R5) ▶<u>渡良瀬取水堰予備発電装置更新工事(R5~R6)</u> ▶<u>餅ヶ瀬取水堰直流電源装置更新工事</u> ▶深山発電所取水堰法面地質調査 ▶深山発電所取水堰法面落石防護網撤去再設置工事 ○業務継続体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶テレワーク、Web会議の活用 ○実践的な災害対応訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ▶ダムを対象とした洪水対応演習(5月) ▶ダム放流危険箇所巡視(6月) ▶地震発生時対応訓練(10月) ▶事故故障発生時の対応訓練(12月) ▶油流出対応訓練(2月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設等の計画的な更新や耐震化 <ul style="list-style-type: none"> ▶足尾発電所水圧鉄管等耐震補強工事 ▶渡良瀬取水堰予備発電装置更新工事(R5~R6) ▶<u>東荒川発電所主要変圧器更新工事(R6~R7)</u> ▶<u>東荒川発電所直流電源装置等更新工事(R6~R7)</u> ▶深山発電所取水堰取水ゲート等修繕工事 ▶板室発電所本館等屋根防水補修工事 ○業務継続体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶テレワーク、Web会議の活用 ○実践的な災害対応訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ▶ダムを対象とした洪水対応演習 ▶ダム放流危険箇所巡視 ▶地震発生時対応訓練 ▶事故故障発生時の対応訓練 ▶油流出対応訓練 ▶非常時用所内電源確保訓練
収益の確保と経費削減 に よる財務基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的な設備点検による電力の安定供給 <ul style="list-style-type: none"> ▶電気工作物保安規程に基づく設備点検、測定試験の実施 ▶<u>川治第一発電所主要機器内部点検修繕等工事(R5~R6)</u> ○既設発電所の全面改修等(FIT適用)による収益力向上 <ul style="list-style-type: none"> 【風見発電所全面改修】 ▶<u>主要機器の製作据付、水圧鉄管の更新等を実施し、令和6(2024)年3月に発電再開</u> 【深山発電所大規模改修】 ▶<u>国有林野貸付申請書作成業務委託等の実施</u> ▶関係機関との協議・調整 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的な設備点検による電力の安定供給 <ul style="list-style-type: none"> ▶電気工作物保安規程に基づく設備点検、測定試験の実施 ▶<u>東荒川発電所主要機器内部点検修繕等工事</u> ○既設発電所の全面改修等(FIT適用)による収益力向上 <ul style="list-style-type: none"> 【深山発電所大規模改修】 ▶令和7年度の発電開始に向けた着実な工事の実施 ○既設発電所の供給電力量増加に向けた更新 <ul style="list-style-type: none"> ▶板室発電所主要機器更新等工事(R6~R8) ○将来の見通しを踏まえた更新 <ul style="list-style-type: none"> ▶<u>今市発電管理事務所集中監視制御システム導入事業(R6~R9)</u>

経営方針	令和5(2023)年度の実績	令和6(2024)年度の実績予定
組織力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ▶職位別体系に基づく研修の実施 ▶新任及び新採用職員に対するTLやメンターの指導 ▶養成費による各研修会参加及び資格取得支援 (ダム管理主任技術者研修、クレーン運転士等) ○保安の高度化や業務の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ▶保守管理支援システムの改修内容検討 ▶<u>風見発電所内センサー類設置及びデータの一元管理</u> ○業務に必要な人材の確保 <ul style="list-style-type: none"> ▶工業高等学校訪問(9校) ▶技術職インターンシップの受入れ(8月、10月) (電気職受験者確保担当職員が出身大学に周知) ▶学生向け現場見学会(12月) ▶61歳以上技術職員活用PTの実施 →「<u>栃木県企業局技術職員人材育成基本方針</u>」改定 ▶電気職PR動画のYouTube公開 	<ul style="list-style-type: none"> ○人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ▶職位別体系に基づく研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・外部研修会・講習会への参加 民間企業の電気設備メンテナンス技術研修 工具等の取扱いに係る研修 等 ・資格取得支援強化 <u>第3種電気主任技術者資格取得へ向けた教材購入</u> ○保安の高度化や業務の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ▶保守管理支援システムの改修 ▶<u>風見発電所内各設備のデータを利用した保守の実施</u> ○業務に必要な人材の確保 <ul style="list-style-type: none"> ▶大学・工業高等学校訪問による電気職の業務及び採用試験のPR ▶技術職インターンシップの受入れ ▶学生向け現場見学会
事業利益等を活用した地域貢献の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ○とちぎふるさと電気による環境保全事業の支援 <ul style="list-style-type: none"> ▶<u>11月に19社34事業所の契約をもって完売</u> ▶公共交通バスEV化促進事業外7事業支援 ○地域振興積立金の活用によるSDGs関連事業の支援 <ul style="list-style-type: none"> ▶<u>栃木県誕生150年記念事業外3事業支援</u> ○ダムカード・発電所カードの配布及び見学会による水力発電所の観光資源としての活用 <ul style="list-style-type: none"> ▶ダムカード配布 3,706枚 ▶発電所カード配布 28,952枚 ▶発電所見学会 5回 ○<u>風見発電所発電開始式(3月)</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○とちぎふるさと電気による環境保全事業の支援 ○地域振興積立金の活用によるSDGs関連事業の支援 <ul style="list-style-type: none"> ▶<u>県営水力発電収入を活用した地域脱炭素化促進事業 (市町が実施する地域脱炭素化事業への支援)</u> ○ダムカード・発電所カードの配布及び見学会による水力発電所の観光資源としての活用 <ul style="list-style-type: none"> ▶<u>風見発電所バーチャル見学会用Webサイトを公開し、発電所見学会に活用</u>

経営方針	令和5(2023)年度の実績	令和6(2024)年度の実績予定
事業利益等を活用した地域貢献の拡充(続き)	<ul style="list-style-type: none"> ○環境イベントへの参加 <ul style="list-style-type: none"> ▶足尾植樹イベントへの苗木寄付及びボランティア参加(4月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境イベントへの参加
SDGs 達成への貢献    	<ul style="list-style-type: none"> ○水力発電による「クリーンエネルギーの供給」やとちぎふるさと電気の販売を通じた事業者の「温室効果ガス削減」への貢献 ○供給電力量最大化による「脱炭素社会の実現」への貢献 ○洪水被害の防止・軽減を目的とした事前放流に伴う「治水対策」への貢献 ○地域振興積立金の活用によるSDGs関連事業の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○水力発電による「クリーンエネルギーの供給」やとちぎふるさと電気の販売を通じた事業者の「温室効果ガス削減」への貢献 ○供給電力量最大化による「脱炭素社会の実現」への貢献 ○洪水被害の防止・軽減を目的とした事前放流に伴う「治水対策」への貢献 ○地域振興積立金の活用によるSDGs関連事業の支援 <u>県営水力発電収入を活用した地域脱炭素化促進事業(市町が実施する地域脱炭素化事業への支援)</u>

3 総合評価

自己評価等							
1 財務面に係る評価 目標の達成状況 ・風見発電所全面改修事業に遅延が生じたものの、FIT適用発電所の販売電力量の増加や人件費等費用の削減により目標を概ね達成できる見込み。					(2)事業の取組実績等 ・風見発電所全面改修事業は遅延が生じたものの、その後は着実に実施し、令和6(2024)年3月に発電を再開した。 ・深山発電所大規模改修事業は計画どおり業務を実施した。		評価
2 事業面に係る評価 (1)目標の達成状況 ・年間供給電力量は、風見発電所全面改修事業の遅延により目標値を下回った。 ・とちぎふるさと電気は、企業ニーズの高まりを受け完売し、一般会計への繰出額が増加したことから、目標達成できる見込み。							B
評価委員会の評価等							
【財務面】 風見発電所全面改修事業に遅延が生じたが、FIT適用発電所の販売電力量の増加や人件費等費用の削減により、目標を概ね達成できる見込みである。						評価	
【事業面】 年間供給電力量は目標に達しなかったが、とちぎふるさと電気が完売し、一般会計への繰出額は増加した。						B	
【取組実績】 風見発電所全面改修事業は遅延が生じたものの、令和6(2024)年3月に発電を再開した。深山発電所大規模改修事業は計画どおり業務を実施している。							
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)		
自己評価	B	B	B				
評価委員会の評価	B	B	B				

今後の取組課題・改善点等	
・FIT適用発電所として発電を開始した風見発電所の適切な運用により安定した料金収入を確保するとともに、経費節減を行い、財務基盤の強化に取り組む。	
・深山発電所大規模改修事業など老朽化設備の改修や計画的な設備点検及び実践的な災害対応訓練の強化により、事故・故障等停止時間を抑制し、電力の安定供給を図る。	
・職位別研修による人材育成や発電施設の保安の高度化を推進し、組織力の強化を図る。	
・持続可能な社会の実現に向けて、電気事業を通じたSDGs達成に貢献する。	

○ 収支の状況

(1) 収益的収支

(単位:百万円)

			令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
収 入	料 金 収 入	計 画 額		1,897	1,951	3,202	3,156	3,381
		当 初 予 算 額		1,897	1,959	2,010		
		決 算 額	2,269	1,953	2,052	1,937		
	そ の 他 収 入	計 画 額		55	55	55	55	55
		当 初 予 算 額		55	58	47		
		決 算 額	65	51	66	44		
支 出	人 件 費	計 画 額		458	419	484	495	495
		当 初 予 算 額		458	391	391		
		決 算 額	412	399	391	337		
	減 価 償 却 費	計 画 額		490	539	698	771	840
		当 初 予 算 額		490	490	465		
		決 算 額	484	500	493	464		
	修 繕 費	計 画 額		282	326	412	600	376
		当 初 予 算 額		282	308	621		
		決 算 額	190	180	373	375		
	そ の 他 支 出	計 画 額		1,064	820	871	1,147	967
		当 初 予 算 額		1,064	926	983		
		決 算 額	883	1,061	806	781		
経 常 損 益		計 画 額		▲ 342	▲ 98	792	198	758
		当 初 予 算 額		▲ 342	▲ 98	▲ 403		
		決 算 額	365	▲ 136	55	24		
剰 余 金 残 高			1,377	1,258	1,322	1,367		

・平成28年度からの積み上げによる(剰余金の処分は考慮しない)。

(2) 資本的収支

(単位:百万円)

			令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
収 入	借 入 金	計 画 額		1,943	1,993	750	0	0
		当 初 予 算 額		1,943	1,993	700		
		決 算 額	131	296	763	1,740		
	そ の 他 収 入	計 画 額		1	1	1	1	1
		当 初 予 算 額		1	9	10		
		決 算 額	7	9	1	2		
支 出	建 設 改 良 費	計 画 額		2,444	2,205	2,119	1,461	705
		当 初 予 算 額		2,444	2,574	2,032		
		決 算 額	637	603	1,083	1,923		
	借 入 金 償 還 金	計 画 額		175	109	212	153	118
		当 初 予 算 額		175	110	662		
		決 算 額	184	175	109	662		
	そ の 他 支 出	計 画 額		37	42	42	42	42
		当 初 予 算 額		37	42	42		
		決 算 額	11	29	37	40		
差 引	計 画 額		▲ 712	▲ 362	▲ 1,622	▲ 1,655	▲ 864	
	当 初 予 算 額		▲ 712	▲ 724	▲ 2,026			
	決 算 額	▲ 694	▲ 502	▲ 465	▲ 1,117			
借 入 金 残 高			1,823	1,945	2,599	3,677		

○ 経営指標による経営状況

(単位:%)

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
経営資本営業利益率	決算値	2.38	▲ 0.55	0.62	0.57		
営業収支比率	決算値	119.58	95.60	105.20	105.27		
経常収支比率	決算値	118.51	93.67	102.66	101.21		
流動比率	決算値	862.68	917.90	383.37	748.00		
自己資本構成比率	決算値	80.90	79.52	74.29	72.20		
有形固定資産減価償却率	決算値	62.56	63.46	64.41	62.96		

○ 財務面に係る目標の達成状況

(単位:百万円)

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
5か年で合計10億円以上の 経常利益を確保	計画累計値		▲ 342	▲ 440	352	550	1,308
	決算累計値		▲ 136	▲ 81	▲ 57	(216)	(974)
	評価		C	C	B		

※ 括弧書きは現時点における見込値

○ 事業面に係る目標の達成状況

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
計画業務量 (年間供給電力量)	目標値		183,000MWh	186,000MWh	227,000MWh	223,000MWh	245,000MWh
	累計値	219,181MWh	182,303MWh	183,052MWh	148,589MWh		
	評価		B	B	C		
各発電所の事故・ 故障等停止時間	目標値		72時間	72時間	72時間	72時間	72時間
	実績値	5時間	102時間	527時間	317時間		
	評価		B	B	B		
一般会計への繰出額 5か年で累計350百万円	計画累計値		70百万円	140百万円	210百万円	280百万円	350百万円
	実績累計値	41百万円	79百万円	175百万円	297百万円		
	評価		A	A	A		